

<腎センター内科>

一般（教育）目標

腎疾患および膠原病を幅広く経験することにより、同領域の疾患および病態を理解すると同時に、尿検査、腎生検組織、腎代替療法、様々な血液浄化療法、免疫学的検査、免疫抑制療法（副腎皮質ステロイドホルモン薬、免疫抑制薬、生物学的製剤など）について幅広く学び、腎疾患および膠原病の初期診療に関する臨床的能力を身につけることを目標とする。地域包括ケア病棟や回復期リハビリテーション病棟に入院する症例も多く、入院の患者さんが自宅もしくは地域に戻るために必要な、治療、理学療法、ソーシャルケアなど包括的な医療の重要性を理解し、実践できるようになる。

（具体的）行動目標

(1) 基本姿勢

- ・受持ち症例について主要な病歴、症状、身体所見を正確に把握し、病態の理解を深める

(2) 診察法・検査・手技

- ・腎疾患および膠原病の病態評価のための検査計画が行える

(3) 症状・病態への対応

- ・行った検査の評価ができる
- ・急性腎不全、慢性腎不全、腎代替療法、膠原病に対して基本的な評価と対処ができる

学習方略（1）

- (1) 指導医・上級医の指導のもとで入院患者の診療を行う。受け持ち患者数は15人程度とする
- (2) 週一回の部長回診に参加し、症例提示を行う
- (3) 指導医・上級医の指導により、腎疾患および膠原病に関する検査を自ら計画し実施する

学習方略（2）勉強会・カンファレンス・学会など

- (1) 週一回のモーニングカンファレンスで症例提示を行い文献的考察を行う
- (2) 月一回の病理カンファレンスに出席し腎生検組織診断への理解を深める
- (3) 腎センター内科で行われている抄読会、勉強会に参加することが可能であり、学会や研究会での発表に対しても積極的支援が受けられる

週間予定（例）※他に他科コンサルテーションなど

	月	火	水	木	金
午前	病棟業務	病棟業務	カンファレンス 病棟業務	病棟業務	抄読会 病棟業務
午後	病棟業務	病棟業務	回診 病棟業務	病棟業務	病棟業務
午後2 (任意)		病理組織 検討会	病理組織 検討会	病理組織 検討会	

EV 評価

PG-EPOC による評価方法（研修医⇔指導医）

※研修医は、各分野の研修終了後、速やかにその分野の自己評価を行い、PG-EPOC 評価システムに入力すること